

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

		担当局	病院局
		担当課	経営課
		課長名	春日
		施策番号	
		I - 1 - (1) - ③	
事業概要			
事業名	総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの運営		
事業概要	【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療を24時間体制で提供します。 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】 ・1次(初療)から3次(重篤)までの救急医療を24時間体制で提供します。		事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの運営費及び医療器械購入費等を記載しています。
	2,553,306 千円	千円	人件費
		目金の金額	課長 人 係長 人 職員 人
		0 千円	(人件費備考)

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	総合周産期母子医療センター、小児救急センターともに、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などにより、医療体制(24時間体制)を確保できました。	見直し内容
		全国的な医師不足の状況ではありますが、引き続き必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などにより、医療体制(24時間体制)の確保に努めます。	

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】	・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療の提供のため24時間体制を確保します。 ・1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の提供のため24時間体制を確保します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	総合周産期母子医療センターにおける医療体制(24時間体制)の確保・充実		運営体制の確保・充実		
	市内の周産期医療の中核を担っており、周産期医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制の確保・充実 平成26年度			%	
	小児救急センターの医療体制(1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の24時間体制)の確保・充実		運営体制の確保・充実		
市内の小児救急医療の中核を担っており、小児救急医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制の確保・充実 平成26年度				%	

活動計画	【総合周産期母子医療センター】 北九州市では、分娩を行う病院の減少に適切に対応するため、産科連携体制を整備しています。このうち、市立医療センターでは、ハイリスク分娩等を受け入れるために総合周産期母子医療センターを設置しており、このセンターでの周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。 【小児救急センター】 北九州市では、市内の小児科標榜医療機関との連携を図り、小児救急医療体制を整備しています。このうち、市立八幡病院では、同体制の中心となる小児救急センターを設置しており、このセンターでの小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標
	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立医療センター)		運営体制の確保・充実
	総合周産期母子医療センターにおける周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。		%
	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立八幡病院)		運営体制の確保・充実
	小児救急センターにおける小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。		%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

		担当局	病院局
		担当課	経営課
		課長名	春日
事業概要		施策番号	
		II - 1 - (2) - ①	
事業名	総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの運営		
事業概要	【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療を24時間体制で提供します。 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】 ・1次(初療)から3次(重篤)までの救急医療を24時間体制で提供します。		■ 直営 □ 補助金 □ 全部委託 □ 負担金 □ 一部委託 □ 指定管理 □ その他 ()
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの運営費及び医療器械購入費等を記載しています。
	2,553,306 千円	千円	人件費
			目安の金額
		0 千円	

【Action】改善	
課題	H24年度の評価結果を受けての課題 総合周産期母子医療センター、小児救急センターともに、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などにより、医療体制(24時間体制)を確保できました。 全国的な医師不足の状況ではありますが、引き続き必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などにより、医療体制(24時間体制)の確保に努めます。
	見直し内容

【Plan】計画			【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を) 【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療の提供のため24時間体制を確保します。 ・1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の提供のため24時間体制を確保します。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) 総合周産期母子医療センターにおける医療体制(24時間体制)の確保・充実	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	市内の周産期医療の中核を担っており、周産期医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制の確保・充実 平成26年度		運営体制の確保・充実	%	
	小児救急センターの医療体制(1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の24時間体制)の確保・充実		運営体制の確保・充実	%	
	市内の小児救急医療の中核を担っており、小児救急医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制の確保・充実 平成26年度			%	

活動計画	【総合周産期母子医療センター】 北九州市では、分娩を行う病院の減少に適切に対応するため、産科連携体制を整備しています。このうち、市立医療センターでは、ハイリスク分娩等を受け入れるために総合周産期母子医療センターを設置しており、このセンターでの周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。 【小児救急センター】 北九州市では、市内の小児科標榜医療機関との連携を図り、小児救急医療体制を整備しています。このうち、市立八幡病院では、同体制の中心となる小児救急センターを設置しており、このセンターでの小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明) 必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立医療センター)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	総合周産期母子医療センターにおける周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。		運営体制の確保・充実	%	
	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立八幡病院)		運営体制の確保・充実	%	
	小児救急センターにおける小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。			%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

担当局	病院局
担当課	経営課
課長名	末吉
施策番号	
II - 1 - (2) - ①	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考) 新病院整備に係る担当職員の人件費を計上しています。この他に担当部長が1名います。	

事業概要					
事業名	八幡病院の移転・建て替えの推進				
事業概要	昭和50年代に建設され、老朽化や狭隘化が進み、一部が新耐震基準を満たしていないなど、施設面に課題がある市立八幡病院の移転・建て替えを行います。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 1.00人
	20,000 千円	千円		29,000 千円	係長 1.00人 職員 1.00人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	建物の老朽化や狭隘化が進んでおり、一部が新耐震基準を満たしていない。	見直し内容 平成25年5月に策定した「新北九州市立八幡病院基本構想」等に基づき、救急・小児・災害医療を充実・強化するため建て替えを行います。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
	八幡病院	移転・建て替えを行い、救急・小児・災害医療を充実・強化します。また、地域の基幹病院としての機能をより一層充実するとともに、地域の医療機関との連携を強化し、地域医療における拠点機能の役割を担います。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	救急・小児・災害医療を充実・強化するため移転・建て替えを推進します。市民の安全・安心を守る、より質の高い医療の提供と、地域社会への積極的な医療貢献を担う施設の実現を目指します。代表的な成果指標は、基本計画を策定した後、公共事業評価を受ける際に設定します。		-	-	%	
					%	
					%	
				%		

活動計画	どうやって目的を達成するか 平成25年5月に基本構想を発表しました。今後は、基本計画の策定、公共事業評価を経て設計・施工に着手することとしています。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		26年度実績(達成率)
	建設予定地の測量及び地盤調査の実施		
	移転・建て替えに向けて、建設予定地の測量や地盤調査を行い、事業の進捗を図る。		%
			%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>